

住友化学



環境・ 安全レポート

2025

大阪工場・研究所の
レスポンシブル・ケア活動



目次

はじめに	1
構内紹介	2
会社紹介	4
住友化学グループの目指す姿	5
新中期経営計画～更なる成長に向けて～	6
サステナビリティの取り組み～SDGsの取り組み～	7
レスポンシブル・ケア	9
・レスポンシブル・ケア（安全、健康、環境、品質）基本方針	10
・レスポンシブル・ケア運営組織	11
働く人の健康と安全への取り組み～ISO45001～	12
環境への取り組み	
・環境処理設備など	14
・排水処理施設や液中燃焼処理の概要	15
・ISO14001	16
省エネルギーの取り組み	17
リサイクル推進に向けての取り組み	19
保安・防災活動の取り組み	21
教育・訓練の取り組み	22
地域の皆さまとのコミュニケーション	23
トピックス～大阪・関西万博 住友館～	25
大阪工場・研究所などを数字でご紹介	
・法の遵守状況	26
・大気汚染防止法・水質汚濁防止法より	27
・地球温暖化防止法より	28
・廃掃法などより	29
・特定化学物質の管理・PRTR法より	30
・環境会計	32
表紙のことば	巻末
ご意見・ご感想をお聞かせください！ （環境・安全レポート 2025 アンケート用紙）	巻末



はじめに



大阪工場長
矢野 浩二

みなさまには平素より住友化学株式会社大阪工場・研究所の事業活動に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大阪工場は半導体デバイスを製造するための薬品「フォトレジスト」を主力製品として製造しており、通信機器・医療機器の製造を含む世界のエレクトロニクス産業に供給しています。より高度な生産活動を追求すべく、製造・販売・研究が一体となり、市場の変化に柔軟に対応しながら、日々努力を続けております。

長年培ってきた有機合成技術を他製品の開発にも応用するなど、新たな価値創造を通じた持続的な成長を目指すとともに、健康、食糧、気候変動など、社会が直面している課題の解決と持続可能な社会の実現に貢献すべく、精進してまいります。

大阪工場・研究所は、住友化学グループの研究開発・ものづくりの一翼を担う事業所としまして、コンプライアンスを基盤とし、開発から製造、流通、使用、廃棄に至る製品の全ライフサイクルにわたって安全・健康・環境・品質に責任を持つ「レスポンジブル・ケア(RC)活動」に積極的に取り組んでいます。

最近のRC活動の取り組みや実績を本レポートに取りまとめましたので、ご一読いただき、ご理解を深めていただきますとともに、今後も「安全をすべてに優先させる」という基本理念のもと、工場の安全・安定操業に引き続き尽力してまいりますので、末永くみなさまのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



構内紹介

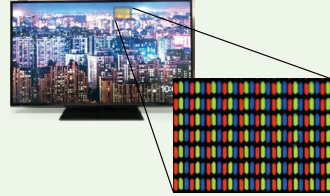




大阪工場の主な製品紹介



フォトリソグ (半導体デバイス用)



カラーレジスト「タイプライト®」
(液晶ディスプレイ用)



高分子添加剤



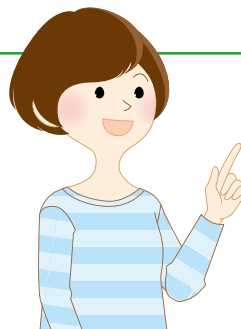
有機ゴム薬品



会社紹介

住友化学

社長	水戸 信彰
創業	1913年 9月 22日
営業開始	1915年10月 4日
設立	1925年 6月 1日
資本金	902億円
連結売上高	26,063億円 (2025年3月期)
連結従業員数	29,278名 (2025年3月31日現在)
本社所在地	(東京) 東京都中央区日本橋2丁目7番1号 東京日本橋タワー (大阪) 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友ビル
事業部門 (連結)	アグロ&ライフソリューション部門、 ICT&モビリティソリューション部門、 アドバンストメディカルソリューション部門、 エッセンシャル&グリーンマテリアルズ部門



住友化学って
どんな会社？

大阪工場・研究所

工場長	矢野 浩二
所在地	大阪市此花区春日出中3丁目1番98号
住友化学	大阪工場、工業化技術研究所、生物環境科学研究所、先端材料開発研究所、 バイオサイエンス研究所、アグロ&ライフソリューション研究所、 ICT&モビリティソリューション研究所
構内グループ会社	株式会社イージーエス、住化ポリカーボネート株式会社、 日本エイアンドエル株式会社、朝日化学工業株式会社、 大阪ゼネラルサービス株式会社、 住化テクノサービス株式会社、住友ファーマ株式会社、 住化ロジスティクス株式会社、株式会社シアテック、 株式会社住化技術情報センター、株式会社住化パートナーズ、 株式会社住化分析センター
従業員数	1,329名 (構内グループ会社を含む構内勤務者 2,342名) (2025年4月1日現在)
敷地面積	約288,000㎡



大阪工場・研究所って
どのくらいの広さか
あるのですか？



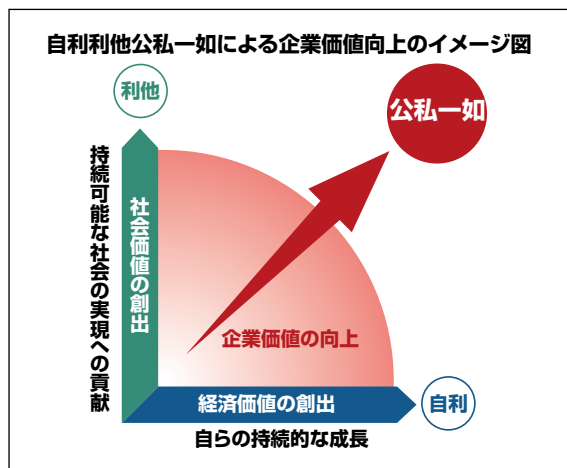
甲子園球場の
約 7.5 倍の広さです。



住友化学グループの目指す姿



住友化学グループは、1913年、別子銅山（現在の愛媛県新居浜市）で行われていた住友の銅精錬事業において生じた煙害を解決するために、原因となる銅鉱石中の硫黄分を取り出し、それを原料に肥料を製造する「住友肥料製造所」に原点があります。



「環境問題の克服」と「農業振興への貢献」を共に目指して設立された当社は、社会の信頼に応えることを最も大切にするという住友の事業精神と、「自利利他 公私一如」、すなわち「自身を利するとともに、事業を通じて広く社会に貢献していく」という考え方を創業以来、脈々と受け継いできました。

この度、『2025～2027年度中期経営計画』にあたり、「Leap Beyond ～成長軌道へ回帰～」というスローガンのもと、従来の事業や技術、考え方を超えた新しい発想で高みへ飛躍し、成長軌道に回帰することを目指しています。



住友化学YouTubeチャンネル
事業や製品、社会課題解決の取り組みなど、各種ニュースを楽しくわかりやすくご紹介したいと思います。是非ご高覧ください。

住友化学（株）公式YouTubeチャンネル▶



住友化学レポート2025
当社の価値創造ストーリーや事業内容、コーポレート・ガバナンス体制や環境・社会への取り組みなどを総合的にまとめた内容となっています。是非ご高覧ください。

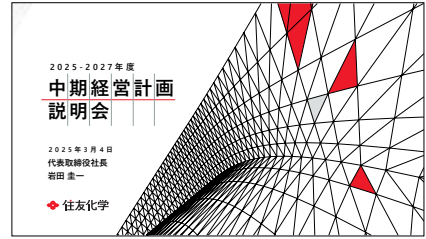
住友化学レポート統合報告書2025▶



新中期経営計画～更なる成長に向けて～

住友化学グループは、2025～2027年度の中期経営計画に取り組んでいます。当面の成長ドライバーとなる「アグロ&ライフ」「ICT&モビリティ」領域への経営資源の集中により、事業ポートフォリオの高度化を加速させます。またROIC*志向経営を再設定することで、収益力資本効率を大幅に改善させ、成長軌道への確かな回帰を実現します。

*ROIC（投下資本利益率）とは、企業が事業活動のために投じた資本を使って、どれだけ効率的に利益を生み出したかを示す指標です。



「2025～2027年度中期経営計画」について右記QRコードで資料と説明動画などをご高覧ください。



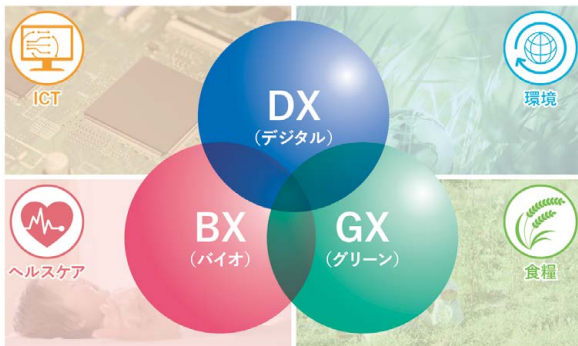
スローガン

Leap Beyond

(現状を超え、更なる高みに飛躍する)
～成長軌道へ回帰～

スローガンに込めた想い

スローガンには、従来の事業や技術、考え方を超えた新しい発想で高みへ飛躍し、成長軌道に回帰するとともに、その先の持続的成長を遂げていくという想いを込めています。今後、新生住友化学として革新を追求し続けることで、持続的な成長と価値創造を実現する決意を表現しています。

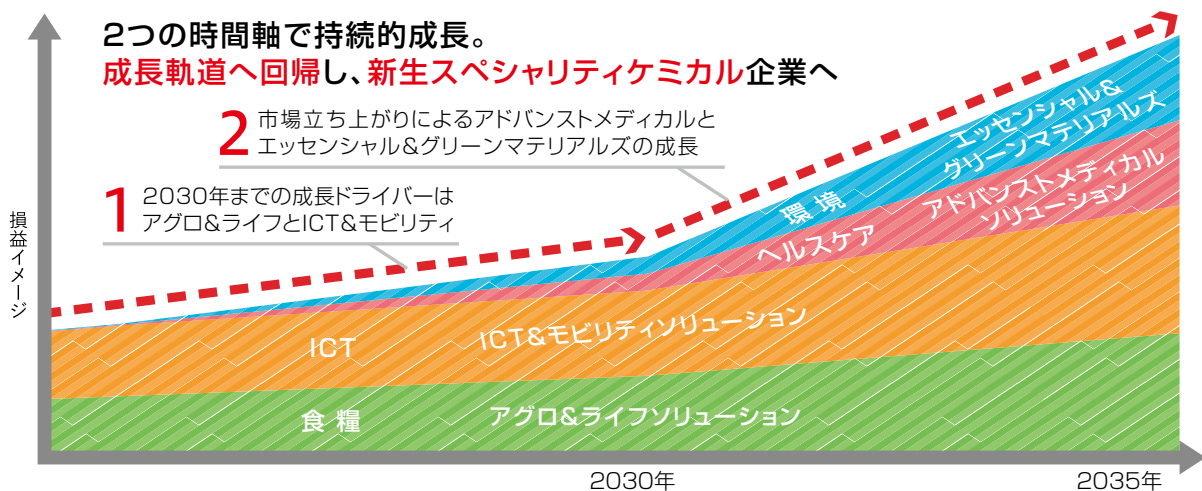


長期的視野に立ち、3つのX (GX・BX・DX*)を基軸とした研究開発力で、イノベティブなソリューションを提供し、事業を通じて社会課題を解決して参ります。

持続的成長に向けて、全社員一丸となって精進して参ります。

*GX：グリーントランスフォーメーション / BX：バイオトランスフォーメーション / DX：デジタルトランスフォーメーション
いずれも社会課題を解決するとともに、持続可能な経済成長を実現するキーワード。

長期的な成長シナリオ



サステナビリティの取り組み ～SDGsの取り組み～



1 将来世代へ持続可能な社会づくりを推進

住友化学グループは、「サステナビリティ推進基本原則」を制定しています。住友の事業精神「自利利他 公私一如」に基づき、サステナビリティの推進にあたっては、イノベーションを通じて、経済価値（自利）と社会価値（利他）を同時に創出すること、そして持続可能な開発目標SDGsの達成などの国際社会の重要課題の解決に貢献することを目指しています。

また、さまざまな機会を通じて当社グループのステークホルダーとのコミュニケーションを図っています。



工場長の特一
(特に重きを置く1枚のカード)
をインタビューしました。
働きがいや経済成長は、
ほかのカードも抜きには
成し得ないという深い意味が
あるんですね。



国際連合加盟国は、2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において「アジェンダ2030」を採択しました。これは、極度の貧困や不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画です。計画は「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals=サステナブル・デベロップメント・ゴールズ:SDGs=エスディー・ジーズ)」として、経済、社会、環境をめぐる様々な課題に対して、2030年までに達成すべき17のゴール(目標)を掲げています。すべての国に、普遍的に適用されるこれらの目標は、わかりやすい17のアイコンで表現することで、国際社会のあらゆる人々が協力して取り組むこととしています。

2 社会からの評価

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人 2025 (大規模法人部門) ホワイト500」の認定を8年連続で受けました。

当社では、定期健康診断の結果や問診の回答を分析し、BMIの改善など、数値化した目標を設定し、さまざまな健康保持増進施策に取り組んでいます。当社の健康管理の取り組み体制が評価された結果です。

大阪工場では、産業医による健康セミナーの開催や診療所だよりの発行、ウォーキングの奨励、昼休みに職場対抗で軽スポーツ大会を実施するなどしています。

従業員一人一人が心身の健康に留意し、公私ともに充実した生活を推進しています。



サステナビリティの取り組み ～SDGsの取り組み～

大阪工場は、このたび、半導体材料であるフォトリソを主力事業とする大阪工場（大阪市此花区）を対象としたRBA（Responsible Business Alliance）監査において200点満点を獲得し、プラチナ・ステータスを取得しました。プラチナ・ステータスは、3つのレベル（プラチナ、ゴールド、シルバー）のうち最も評価の高いステータスとなります。

本監査では、RBA行動規範に基づく企業の社会的責任の取り組みを確認するための第三者監査機関により、「労働」「安全衛生」「環境」「倫理」「マネジメントシステム」における適正な管理が認められました。

住友化学は、事業活動のあらゆる段階において安全・健康・環境・品質に関して最優先に取り組む事項を「レスポンスブル・ケア基本方針」として定め、当社の運営の基盤としております。半導体材料事業においても、技術革新と製品開発を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献するため、引き続き労働環境、安全衛生、環境保全などの向上に努めてまいります。



RBA (Responsible Business Alliance) とは、グローバル・サプライチェーンにおける労働者とコミュニティの権利と福祉を支援する、世界最大の非営利組織です。エレクトロニクス、小売、自動車などの企業で構成されており、現在、600以上の企業・団体が加盟しています。加盟企業・団体は、年間総売上高は8兆ドルを超え、直接雇用の労働者が2,150万人以上、120か国以上で製造を行っています。詳細は、RBAのウェブサイトをご参照ください。 <https://www.responsiblebusiness.org/>





1 レスポンシブル・ケアとは

レスポンシブル・ケアとは、化学製品の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至るすべての過程において安全・健康・環境を確保するための、事業所による自主活動です。対話を通じて相互理解に努め、社会の持続的発展に貢献するとされています。(日本化学工業協会) レスポンシブル・ケア活動は、1985年にカナダで発足しました。



レスポンシブル・ケアのシンボルマークは、“両手と分子模型”をデザインしたもので、『化学物質を大切に扱う』という意味が込められ、手のひらで包み込んでいる様子を表しています。ICCAが定めた国際的に共通のロゴマークであり、会員企業のみが使用を許諾されています。

1989年に国際的組織として国際化学工業協会協議会 (ICCA) が設立され、レスポンシブル・ケアも主な活動として位置づけられました。活動の推進を担うレスポンシブル・ケア・リーダーシップグループ (RCLG) の加盟国は日本を含めて63ヶ国を数えます (2021年時点)。

日本では、社団法人日本化学工業協会 (JCIA) の中に日本レスポンシブル・ケア協議会 (JRCC) が設立され、多数の化学品関連企業が会員となっています。

住友化学は、レスポンシブル・ケアの基本となる安全・健康・環境に加えて、化学製品の品質についても重視しています。ものづくりの企業として総合的に取り組んで参ります。

2 レスポンシブル・ケアの実施について

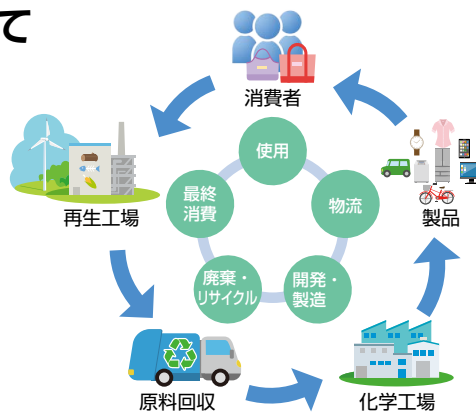
私たち住友化学は、住友の事業精神にのっとり、人類生存の基盤を支え、社会の発展に幅広く貢献する製品を開発、生産、供給することを使命としています。

そして化学物質を扱う事業者として責任ある自主的な行動をとることが、求められていると認識をしています。

「自分ごと」として住友化学グループの役職員全員が取り組みます。

コンプライアンスを基盤として、「安全をすべてに優先させる」ことを基本に、製品の開発から廃棄に至る事業活動のあらゆる段階において、環境保全や品質管理に努めています。

レスポンシブル・ケア活動に積極的に取り組むことにより、社会の信頼を得て、事業活動を推進し社会の持続可能な発展に貢献していきたいと考えています。



住友化学では次の項目について目標を掲げ、計画に基づいて自主的・主体的に活動しています。

- 環境保全 …… 地球上の人々の健康と自然を守ります。
- 保安防災 …… 設備災害の防止や自然災害対策に努めます。
- 労働安全衛生・健康 …… 働く人々の安全と健康を守ります。
- 物流安全 …… 物流における事故、災害の防止に努めます。
- 化学品・製品安全 …… 化学製品の性状と取扱方法を明確にし、顧客も含めた全ての取扱者の安全と健康、環境を守ります。
- 社会とのコミュニケーション …… 活動内容・成果を公表し、対話を進めます。

レスポンシブル・ケア基本方針

2025年度 レスポンシブル・ケア年度方針

2025年度 大阪工場・研究所 安全・環境活動方針

2025年4月1日
大阪工場 総務部
2025年度 健康づくり活動具体取組み
I. 健康管理に関する基本的な考え方
矢野浩二

2025年度 大阪工場 品質方針 (2015~27年度 中期経営計画 初年度)
2025年4月1日
大阪工場 品質委員会
品質基本方針
お客様が安心して使用し、満足し、信頼できるより良い商品を提供いたします。
基本的考え方
マネジメントシステムと製品品質の継続的改善に取り組むとともに、

2025年4月1日
住友化学株式会社
大阪工場長 矢野浩二
大阪工場環境方針

【基本方針】エコ・ファーストの約束に基づき、当工場の事業活動における環境負荷の評価と低減を行い、環境保全に努めます。

- 持続可能な社会の実現と生物多様性の保全の為、生産活動に係る全部門において省資源、省エネルギー、廃棄物の削減を進めると共に温室効果ガス(GHG)排出量の削減など、環境負荷の低減に努めます。
- 環境に関する法令や協定等を守ることはもとより、適切なリスク評価と管理を行い、環境汚染の予防に努めます。
- 環境方針を達成するために、ISO14001環境マネジメントシステムを活用し、環境目的・目標を定め、かつ定期的に見直し、環境管理計画を実行することにより継続的な改善を図るとともに、社内外の監査を通じてマネジメントシステムを向上し、基本方針の達成に努めます。
- 全従業員の基本方針の理解と環境に関する意識の向上を図るとともに、協力会社及び構内グループ会社へも環境方針を周知し、理解と協力を要請します。
- 『地域社会との共存共栄』、『無事故無災害』、『顧客優先』を基本理念とし、周辺環境の変化に対応し、地域の皆さんや関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献します。

2025年4月1日
大阪工場
矢野浩二
2025~2027年度 大阪工場方針
挑み続ける化学の力で つなぐ明日 確かな未来
基本方針
I 安全安定操業を達成、継続する

2025年4月1日
住友化学株式会社
大阪工場長 矢野浩二
大阪工場・研究所 安全衛生基本方針

働く人の安全衛生の確保は企業存立の基盤をなすものであり、企業の社会的責任でもある。私たちは、安全衛生に関し下記の基本理念のもとに以下の事項を実施する。

基本理念
「安全をすべてに優先させる」

- 安全衛生はライン管理が基本である
- 安全衛生は一人ひとりに遂行責任がある
- 安全衛生は協力会社と一体である

- 労働災害をゼロにするため、働く人及び働く人の代表と協議をし、働く人全員の参加の下、労働安全衛生マネジメントシステムのPDCAサイクルを適切に回し、継続的に職場のあらゆる危険・有害要因を排除する。
- 働く人の安全衛生を確保するため、労働安全衛生法等の関係法令および命令はもとより、会社および大阪工場で定めた規程類等を遵守する。
- 働く人の健康障害を防止し、疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境への改善を継続的に進める。
- 安全衛生教育・啓発活動を実施し、働く人の安全衛生意識の向上を図る。
- この方針は、協力会社・構内関係会社へ周知し、理解と協力を要請する。

この方針は社内外へ公表する。

この方針によって
運営しているんですよ。



「無事故無災害」
「顧客重視」
「地域社会との共存共栄」が
大阪工場・研究所の
基本理念です。





大阪工場 安全・環境委員会

住友化学	構内グループ会社	
大阪工場	イージーエス	住友ファーマ
工業化技術研究所	住化ポリカーボネート	住化ロジスティクス
生物環境科学研究所	日本エイアンドエル	シアテック
先端材料開発研究所	朝日化学工業	住化技術情報センター
バイオサイエンス研究所	大阪ゼネラルサービス	住化パートナーズ
アグロ&ライフソリューション研究所	住化テクノサービス	住化分析センター
ICT&モビリティソリューション研究所		

各種委員会など

- 安全衛生委員会
- GX 推進連絡会
- 構内グループ会社
レスポンシブル・ケア連絡会
- リサイクル担当者会議
- 省エネルギー推進委員会

安全衛生協力会*

- 工事部会
- 物流部会
- サービス部会

社会に対するレスポンシブル・ケア活動



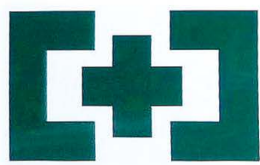
*安全衛生協力会とは、大阪工場・研究所の工事、運輸、サービス業務を行なう会社の安全衛生管理組織です。

働く人の健康と安全への取り組み ～ISO45001～

あらゆる面から無事故・無災害の生産活動を目指し、継続的に労働安全衛生に取り組み「安全をすべてに優先させる」ことを実践しています。

安全衛生協力会なども含め構内で働く全ての人が意識して行動します。

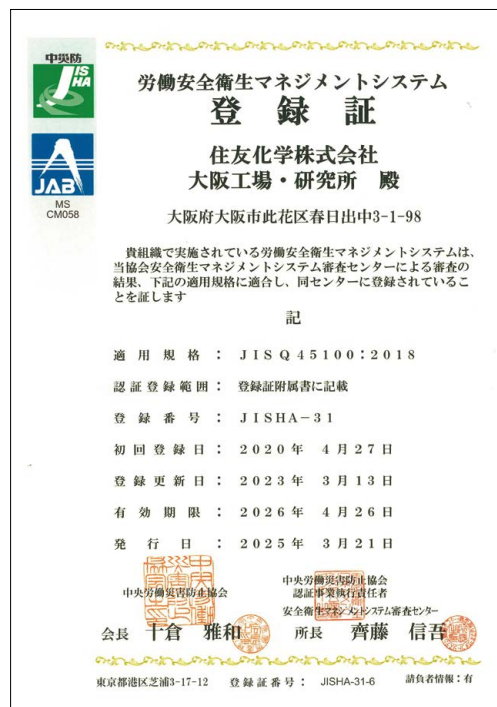
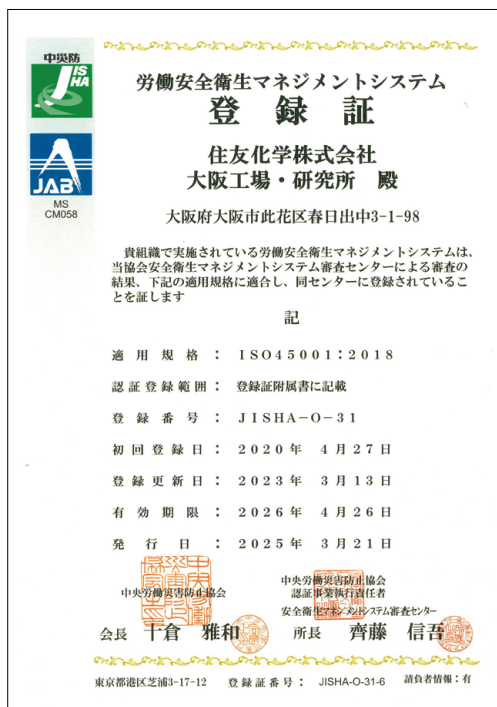
2025～2027年度 全社安全衛生スローガン



リスクの高まり見逃すな!
気づいて共有
リスクを下げて 今日ゼロ災



ISO45001について



ISO45001は、労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格です。大阪工場・研究所では、2020年1月および3月に中央労働災害防止協会の審査を受け、2020年4月に住友化学の事業所では初めてJISQ45100(ISO45001)に登録されました。

JISQ45100とは、ISO(JISQ)45001に4S(整理・整頓・清潔・清掃)活動や危険予知(KY)活動といった職場で日常的に行われている安全衛生活動や、働く人の健康確保の取り組みなどを要求に加えた日本独自の規格(JISQ45100)で、より高い労働災害防止効果を狙いとしたものです。

JISQ45100を実施することにより国内外のOSHMS*の基準に対応し、ISO(JISQ)45001とJISQ45100の2つの認証を取得しました。

2025年2月18～19日には、中央労働災害防止協会によるサーベイランス審査を受審しました。サーベイランス審査とは、1年に1回行われるマネジメントシステムの適合性や有効性を評価する審査のことで、ISOの取得後も要件を満たし続けているかをチェックする審査です。

*Occupational Safety and Health Management System



2 朝の挨拶運動について

「出勤時と同じ元気な姿で帰宅しよう!」の新しいデザインののぼりを作り、朝の挨拶運動を実施しました。その日、出勤した構内の従業員すべての人が「安全をすべてに優先させる」ことを今一度認識してもらう取り組みです。



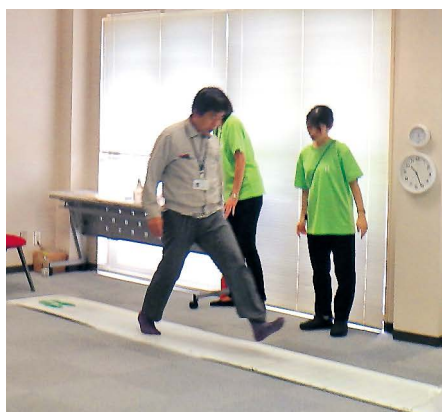
工場長、各研究所長等による挨拶運動 2025年5月26日～6月2日

3 転倒防止の取り組みについて

厚生労働省を中心に推奨している「STOP!転倒災害プロジェクト」は、休業4日以上死傷災害で最も件数が多い「転倒災害」を減少させるための取り組みです。大阪工場・研究所では従業員の意識づけを目的に、構内で従事する方を対象に測定を行いました。

●筋力・体成分分析測定（2024年9月24日実施）

転倒災害防止のための健康診断プラスとして、今回は、①2ステップ測定 ②足指測定 ③体成分分析測定を実施しました。これらの測定を通じて、自身の筋肉量や体成分の実態を把握することで、日常生活における健康維持や転倒リスクの低減に役立てることができます。



①2ステップ測定



②足指測定

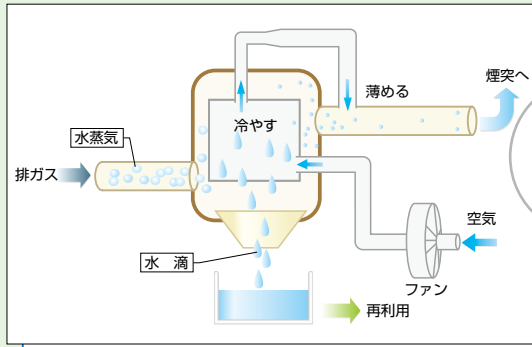


③体成分分析測定



環境への取り組み ～環境処理設備など～

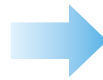
大阪工場・研究所では、環境汚染対策設備を設置し、汚染を防止しています。また、分析を行う住化分析センターや、化学物質の環境への影響などを研究する生物環境科学研究所、さらには安全・防災・環境に配慮した生産プロセスの開発を行う工業化技術研究所が立地しており、トータルで環境に配慮する事業所を目指して幅広く取り組んでいます。



煙突から出る白い煙は、水蒸気です。その水蒸気を空気で冷却して凝集水にすることで、大気中への水蒸気の排出をほとんどゼロにしました。



〈改善前〉



〈改善後〉

白煙対策設備（大気による冷却と希釈）



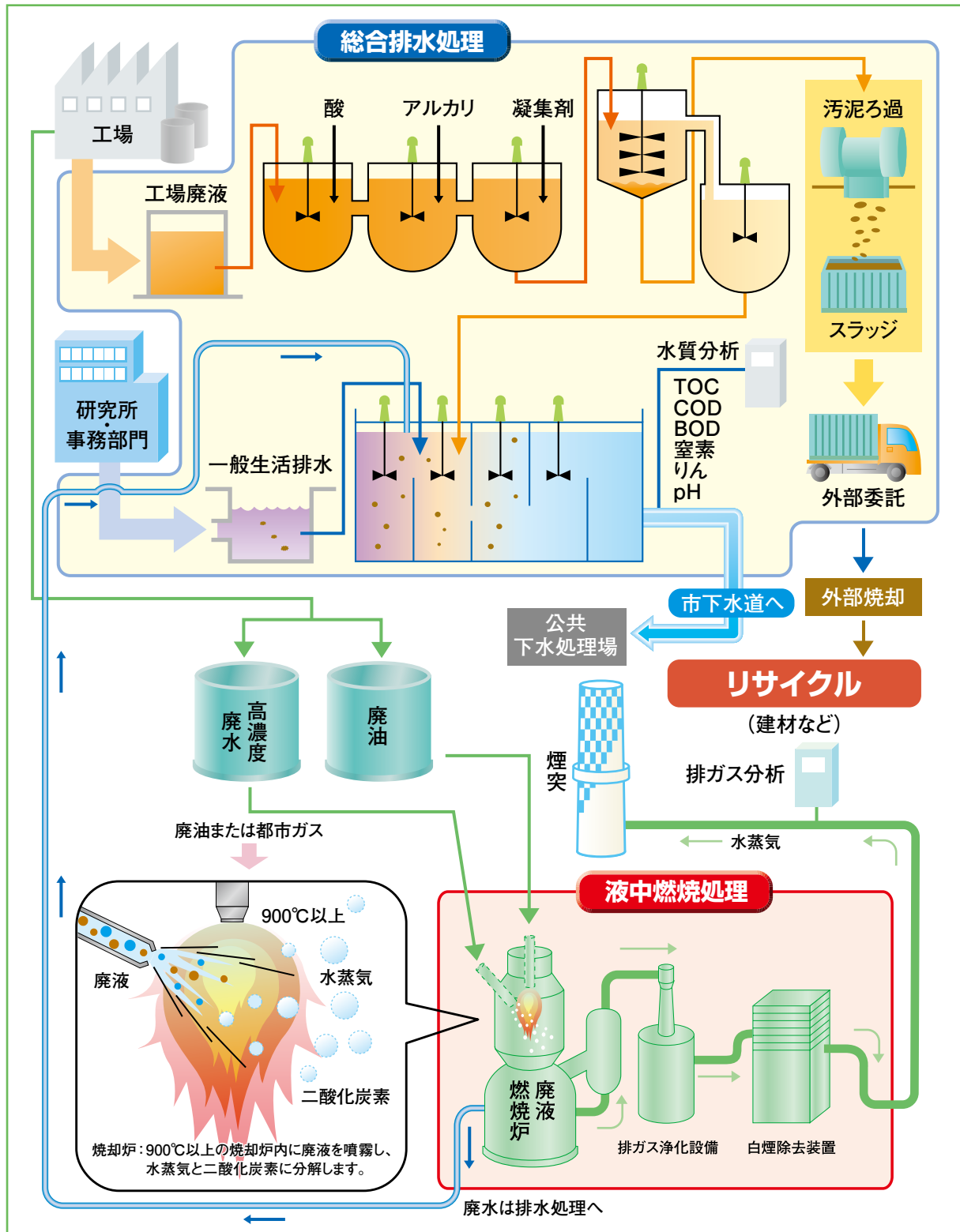
高濃度廃水焼却設備



排煙脱硝設備

環境への取り組み

～排水処理施設や液中燃焼処理の概要～



TOCとは、水・泥などに含まれている有機物中の炭素量のことで、水質を管理する指標として広く採用されています。CODとは、化学的酸素要求量のことで、湖や川、海などの水の汚れの程度を表すもので、汚れ（有機物）が化学的に分解（酸化）される時に使われる酸素の量を濃度で表した値を言います。大阪工場・研究所では、高濃度廃水を液中燃焼炉などの高度処理設備で処理しています。BODとは、生物化学的酸素要求量のことで、湖や川、海などの水の汚れの程度を表すもので、汚れ（有機物）が微生物によって分解（酸化）される時に必要とする酸素の量を濃度で表した値を言います。COD、BODともに、この数値が高いほど、水中の有機汚濁物質の量が多いことを示しています。

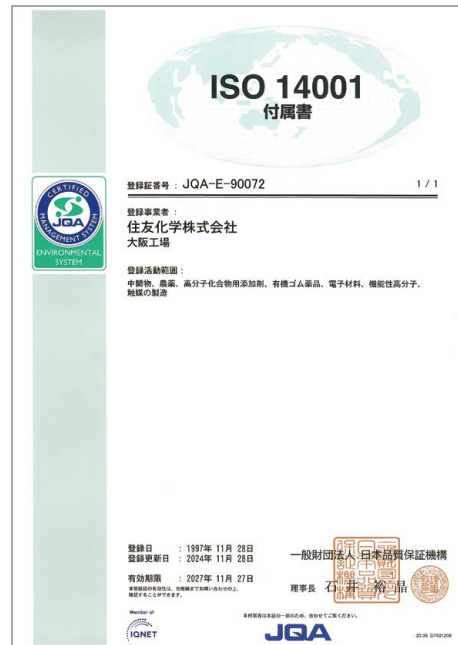
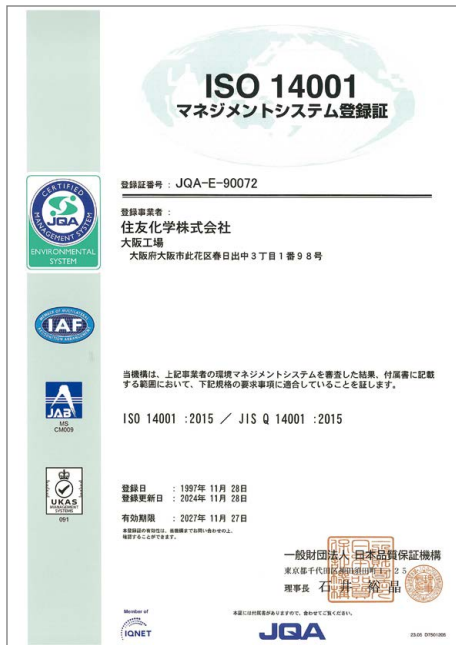
環境への取り組み ～ISO14001～

大阪工場は、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を受け運営しています。

ISO14001は、環境法令を守ることはもとより、環境への影響を継続的に改善するとともに、事故の予防や緊急時対応を確実にを行う国際的な管理システムです。大阪工場では、1997年に認証を取得以降、毎年の審査を受けています。書類だけでなく実際に製造現場も丁寧に確認され、活動内容をより良いものに改善できる貴重な機会です。

大阪工場の主な取り組み事項を下記に示します。

- (1) エコ・ファーストの約束に基づく対応
- (2) 省資源・省エネルギーの推進
- (3) 廃棄物の削減とリサイクルの推進
- (4) PRTRの推進
- (5) 保安防災の取り組み
- (6) 各種教育の実施



🍀 JQAによる定期審査 (2024年10月23日～25日実施)



現場審査の様子



書類審査の様子

省エネルギーの取り組み



1998年に省エネルギー推進組織を発足以来、省エネルギーを中心とした地球温暖化防止に積極的に取り組んでいます。第1種エネルギー管理指定工場である大阪工場は、電力使用量が増加傾向になる夏季および冬季を省エネルギー期間と定めて、さまざまな活動を実施しています。

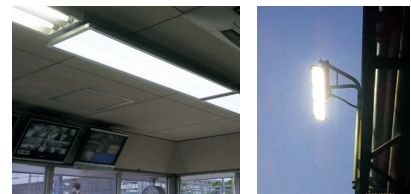
さらには、節電メニューを設定し、大阪工場・研究所および構内のグループ会社や協力会社も一体となって約100項目のきめ細やかな対策に取り組み、省エネルギー活動のひとつとして継続しています。

水やLNG（液化天然ガス）等についても各部署ごとの使用量を見える化しており、節水・節ガスに取り組んでいます。

生産・研究活動における省エネルギーの取り組み

照明など	<ul style="list-style-type: none"> ・人感センサーによる無駄な電力削減の推進。 ・照明のLED^{*1}化や変圧器の更新。 ・2024年度は、約114,800kWh/年の省電力を達成しました。
発電設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスコージェネレーションシステム（CGS）^{*2}で電気とともに発生した蒸気を有効活用。（CGSは、都市ガスを燃料として発電し、その排熱を利用して蒸気を発生させる効率の良いシステムです。）
空調・換気	<ul style="list-style-type: none"> ・研究所の空調は、実験の安全性と省エネ性を兼備。 ・ガスヒートポンプ（GHP）^{*3}も採用。GHPは電気ではなくガスで空調を行うため、電気ヒートポンプ（EHP）に比べて、消費電力量が大幅に少なくなり、電力需要抑制に大きく貢献します。
機械の動力など	<ul style="list-style-type: none"> ・インバータの活用や高効率のエコポンプの採用を推進。
廃液焼却処理施設	<ul style="list-style-type: none"> ・排熱を回収して、温水に利用。（P.18の図ご参照）
省エネ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネパトロールの実施、省エネニュースの発行など。 ・ソーラーLEDの導入検討継続^{*4} ・冷水塔更新（能力の適正化および循環ポンプの運転方法見直し）により、年間180 t-CO₂削減。 ・冷凍機更新により、年間85 t-CO₂削減。^{*5}

※1 LED照明（室内灯）（外灯）



※2 コージェネレーションシステム



※3 ガスヒートポンプ



※4 ソーラーLED
ソーラーLED外観（拡大）



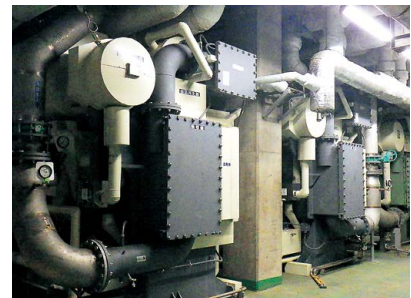
夜間自動点灯



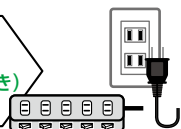
夜間自動点灯後、
人感センサー検知により
照度アップ



※5 冷凍機更新によりCO₂削減



待機電力の削減
(不要時のプラグ抜き)



昼休みの
不要照明の消灯



パソコンの省電力設定、
不在時ディスプレイ
OFF!

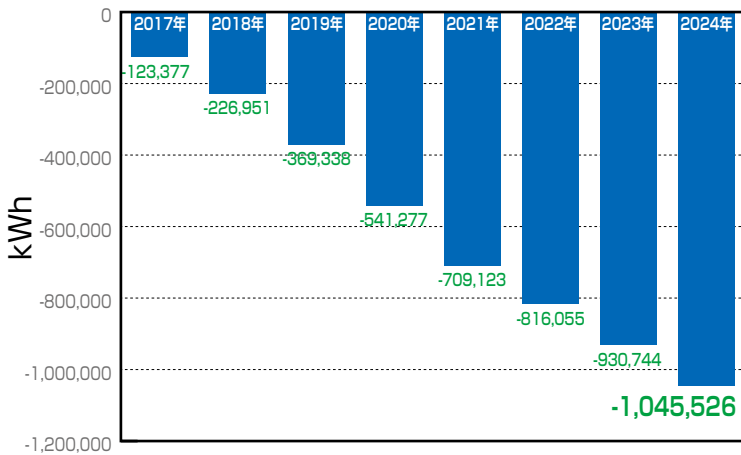


省エネルギーの取り組み

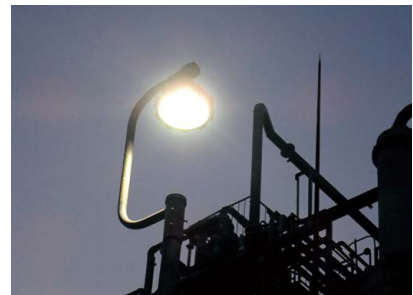
各種照明のLED化や変電設備の更新などにより、2017年以降、消費電力の低減を実現しています。

今後、蛍光灯ランプの製造が廃止される事もあり、2025年度以降もさらにLED化をすすめます。

節電電力量 累計(2017年度～)



ナトリウム灯の外観



夜間の点灯
ナトリウム灯のLED化写真

2 SBT

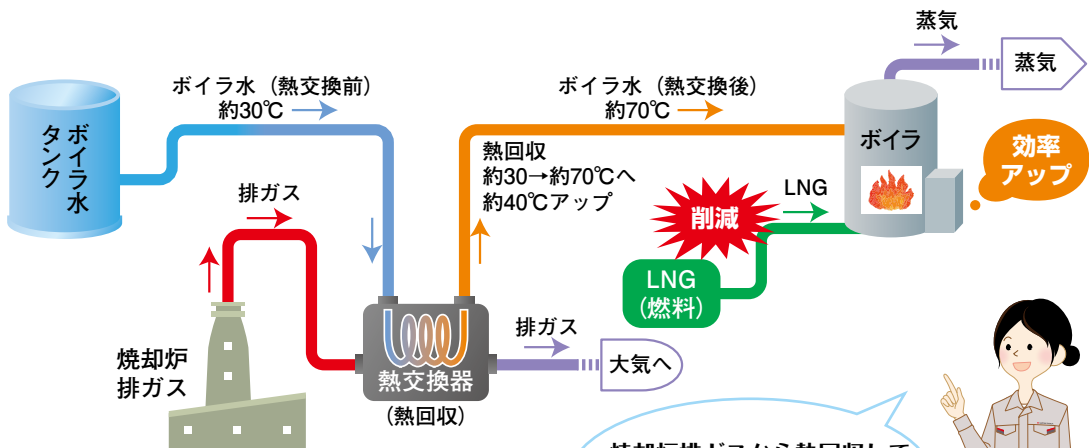
COP21のパリ協定で掲げられた温室効果ガス削減目標について科学と整合した目標設定を行い、着実に実現していこうという施策に取り組んでいます (Science Based Targets 略称SBT)。

大阪工場・研究所では、廃液焼却炉の排熱を回収して蒸気ボイラの生産性を向上することで、稼働に必要な燃料 (LNG: 液化天然ガス) の使用量を削減できました。結果、CO₂の排出量削減を実現しました。



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



焼却炉排ガスから熱回収してボイラの燃料の使用量を削減したのですね。



リサイクル推進に向けての取り組み



1 廃棄物の管理

大阪工場・研究所では廃棄物について、排出者としての責任の下、廃棄物の管理を行っています。

各部署のリサイクル担当者が定期的な会議を行い、3Rや廃棄物の適切な分別について情報共有しながら、廃棄物の円滑な排出・処理に努めています。

社内の分別排出ルール『3Rガイドブック』で、分別方法などを常時確認しています。

大阪市環境局の方針も周知し、事業系一般廃棄物の低減も図っています。

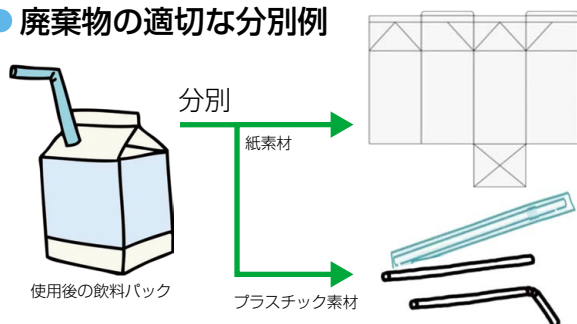
また、構内グループ会社の株式会社イージーエス（産業廃棄物処分量など）と連携をとりながら、産業廃棄物の適正処理を推進しています。

『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』（令和4年4月施行）については、これまでの3R（廃棄物の発生量を、減らすこと・再利用すること・リサイクルすること）に加えて、+Renewable（資源化すること）に向けて取り組んでいます。

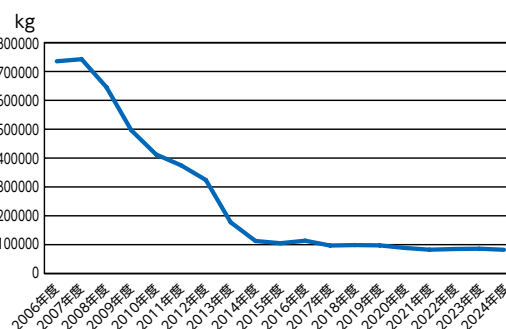
3Rは、
Reduce(減らす),
Reuse(もう一度使う),
Recycle(再生する)の
ことですね。



● 廃棄物の適切な分別例



● 事業系一般廃棄物の推移



事業系一般廃棄物排出量推移

● 廃棄物の適切な分別保管

産業廃棄物と事業系一般廃棄物等について、排出者となる私ども一人ひとりが、その区分を意識して廃棄物を取り扱っています。

リサイクル推進のために廃棄物を種類ごとに分別することに努めています。

「廃棄物にも品質を」のポリシーに基づいて、廃ガラスも2種類に分別管理しています。

また各契約業者と適宜連携を取りながら、リサイクルや不具合の無い処理に努めています。



産業廃棄物と事業系一般廃棄物の回収容器を区分して配置



廃液類を適正に保管



手取りで中身を確認しながら丁寧に回収

リサイクル推進に向けての取り組み

2 お客さまにおける廃棄物削減対策

● 製品容器の回収

お客さまから容器を回収し、適正な処理を行なっています。



回収された製品の容器



製品の容器を収容するコンテナ
(製品の出荷と容器の回収に使用)

お客さまの廃棄物削減にも協力しています。

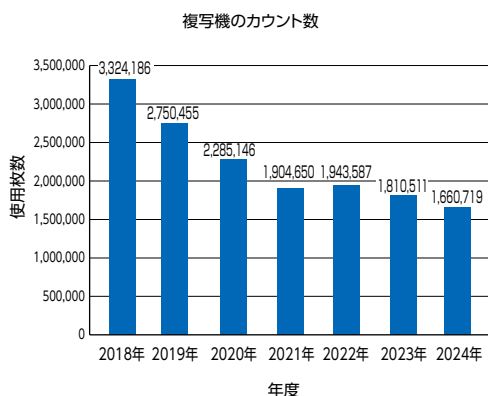


3 3Rの推進 Reduce (減らす), Reuse (もう一度使う), Recycle (再生する)

廃棄物の発生抑制および資源の枯渇防止の取り組みとして推進しています。

● 書類のペーパーレスを奨励 (Reduce減らす)

電子資料の利用を推進し、紙の使用量を削減。複写機のカウンタ数にも表れています。



● オフィス書類の再生化 (Recycle再生する)

使用したオフィス書類は、回収して、専門業者でトイレットペーパーに生まれ変わります。



オフィス系古紙の集積



オフィス書類が原料の
トイレットペーパー
(パック)

● 『Reuseもったいない活動』 (Reuseもう一度使う)

未使用品や余剰品、まだ使用できるので捨てるにはもったいない物の情報を電子共有フォルダに公開。2021年5月よりスタートし、再利用を推進しています。

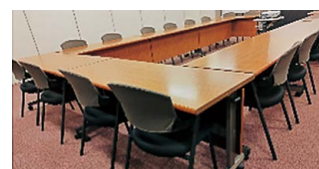
2025年6月現在では累計234件の登録があり、とても活況です。この活動で、物を購入する前に必要なものかを検討し、無駄な物を増やさない事や相互に積極活用することで、コスト削減にも寄与。物を大切に使う精神をあらためて実感しています。



折りたたみコンテナ



安全コーナークッション



会議用テーブル



ちょっとした心遣い：
貰って喜んでいただけるように、きれいに拭きあげる等、大切にですね。



保安・防災活動の取り組み



化学会社として、あらゆるリスクに対応するため構内グループ会社と連携して日々の安全確保に努め、保安防災活動に取り組んでいます。2025年度においては、コロナ禍以前と同様の訓練を計画・実施し、有事における迅速かつ的確な対応を確認することに加え、構内全体の保安防災の意識高揚を図っています。

● 合同防災訓練 (2025年6月10日実施)

地震発生後の二次災害として火災が発生したという設定のもと、住友化学自衛消防隊に加え、大阪北港地区共同防災組合陸上防災隊（以下、共同防災隊という）^{※1}と合同で訓練を実施しました。実際に放水を行う初期消火訓練に加え、被災者の救助等もきびきびと実施し、此花消防署からも高評価をいただきました。

※1 共同防災隊…大阪北港地区（コンビナート）にある自衛消防隊で、大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車を所有し大阪北港地区で発生する災害出動に備えています。



自衛消防隊 車載放水銃からの消火



共同防災隊 化学消防車からの消火



職場消防隊による初期消火活動



被災者の救助活動訓練



此花消防署 警防担当司令による講評



● 製造部消火栓操法競技会 (2024年12月2日実施)

消火栓操法^{※2}の習熟を目的とした競技会を本年も実施しました。いざという時の初期消火方法の一つとして、消火栓の操作は非常に重要です。各職場で消防隊を編成し、火災を想定した的に向けて放水を行います。この競技会では、職場間で正確性と速度を競い合うことで、製造部全体の防災意識および技能の向上を図っています。

※2 消火栓操法…消火栓を用いた初期消火活動の一つ。2～3人で隊を編成し、指揮者の指示の元、ホースの準備から鎮火までの一連の動作を指します。



指揮者による点呼および指示



消火位置へのホースの延伸作業



火元（的）への放水活動

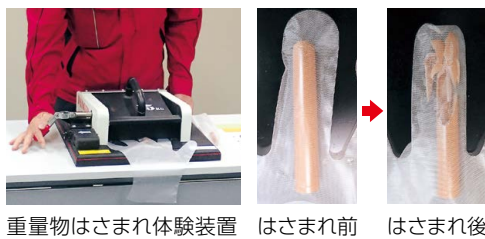
教育・訓練の取り組み

教育・訓練については、法定教育をはじめ意識教育、技能教育、緊急時処置訓練教育など多方面にわたり実施し、環境・安全についても幅広く教育を行っています。

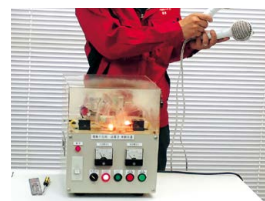
●安全体感教育(2025年4月21日～4月25日、5月12日～5月23日、6月23日～6月27日、7月7日～7月18日実施)

重量物へのはさまれ(思いがけず倒れてくる物にはさまれる体感)や熱中症予防法、過電流の学び、言葉だけで情報を伝える事の難しさなど、どの職場でも起こり得る危険性について体感研修を行いました。安全意識向上のため、今後も安全体感研修を実施して参ります。

15kgの重量物が高さ7cmから落下すると、指を模した樹脂の筒が粉々になる模擬実験で、はさまれの危険性を再確認しました。



ヘッドライナー1200W 2個を同時に使用した実験では、発火に至る現象を目の当たりにしました。



過電流体験装置

●保護具(防じんマスク)講習会(2024年11月14日実施)

製造現場や研究職場で使用する保護具類について、適正な使い方、着用方法や管理を定期的に学んでいます。また、再度確認することで更なる安全意識を高めています。



防じんマスク着用時の漏れチェックをグラフで確認

●保護具(手袋)選定の為の講習会・試着会(2024年9月30日・10月1日、2日実施)

製造現場や研究職場、また工事関係の協力会社が使用する保護手袋(薬品用手袋、耐切削手袋)について、適正な使い方、着用方法や管理方法について学び、2024年4月からの法改正に向けて準備を進めました。



薬品用保護手袋試着の様子



受講の様子

●危険予知訓練4R-KYT演練大会(2024年11月19日実施)

普段から危険を予知する訓練として、4R-KYT*という手法を用いて月に一度、各部署にて実施しています。その集大成として演練大会を開催し、時間内にイラストを見て優れた危険予知ができるか競う競技として、製造や研究の各部門が奮闘し、審査を経て順位が決まります。



時間内に模造紙に危険を書き出す様子



部署ごとの発表の様子

*4R-KYT: 危険予知トレーニングの代表的な手法(4ラウンド法)

地域の皆さまとのコミュニケーション



1 構外放送用スピーカー

工場内に4カ所設置しており、工場内での必要な情報発信だけでなく、緊急時には地域の皆さまに向けて情報を発信できるようにしています。

また、大阪市の防災行政無線をそのまま流すことができ、津波などの大規模な災害が予想される場合には、地域の方に情報を速やかにお知らせできるようにしております。

「全国瞬時警報システム（Jアラート）訓練」にも活用されています。



北西方向



南西方向



北東方向



南東方向

2 広報紙「春日出」の発行

近隣住民の皆さまに、大阪工場・研究所での各活動を知っていただくため、広報紙を発行しています(新聞折り込み)。広報紙を通じて、住友化学をより深く知っていただくとともに、皆さまからご意見を頂戴し、地域の皆さまとともに発展していく住友化学でありたいと考えております。



広報誌「春日出」表面



広報誌「春日出」裏面

地域の皆さまとのコミュニケーション

3 清掃活動

大阪市主催「大阪マラソンクリーンUP作戦」をはじめとし、近隣地域の清掃を実施しています。



2024年11月29日実施



2025年2月19日実施

4 青少年の育成支援 近隣中学校への「職業講話」実施

生徒たちが将来の進路や職業選択について考えるきっかけを与える目的で実施されており、普段は知る機会の少ない化学会社の仕事内容や職場環境について講話しました。生徒の皆さんは、真剣に話を聞き、積極的に質問もしてくれました。





2025年 日本国際博覧会 Expo2025 Osaka,Kansai,Japan

2025年4月13日～10月13日、大阪・関西万博が大阪市此花区で開催されました。SDGs達成に貢献することをめざした国家プロジェクトであり、住友化学は住友館を出展しました。特に開催地の地元此花区にある大阪工場では、ボランティアとして活動する社員もあり、住友館の活動をとおり、1970年以来55年ぶりに大阪で開催の万博184日間に力を尽くしました。



提供：2025年日本国際博覧会協会



住友館の建物は、愛媛県別子の山々をモチーフにしています。住友グループが保有する“住友の森”の木々約1000本を使用。「1本1本のいのちを大切にしたい」という信念で、木材の加工に合板を用いる事で木々を余すことなく利用しました。また、大阪万博が開催された1970年に植えられた木も使用し、「住友館は時を超えて、めぐる。」という思いが込められました。

展示テーマは、未来へ向けて森・いのちの循環。多様なプログラムで、国内はもとより世界中からお越しいただいた方々に、私どもの思いを体感いただきました。

●Voice

住友館ではグループ各社からボランティアを募りました。子供向け植林体験イベントの運営スタッフとして、会場準備や受付、参加者への説明・サポート、苗木の世話や水やり、記念品の配布などを担当。クイズや体験を通じて、子供たちや家族に森づくりの大切さを楽しく伝えました。国籍などもこえて沢山の皆様に接する貴重な経験をしたボランティアの声をお届けします。



ボランティアのバケットハット



住友館がパビリオンの中でも人気なものあって、充実していてあっという間でした。別子銅山や住友館のコンセプトについて聞かれることもあり、多くの人に関心を寄せてもらっていると感じました。他のグループ会社の方とも交流することができ、貴重な体験ができたと思います。(S.W.)



植林体験は結構人気があり、イベントを通し、森の必要性や植林の重要性を知り、年齢を問わず興味を持てる内容であったと思います。子供達から「楽しかった」と言って貰えた時は、嬉しい限りでした。私も含めスタッフは、最初は不安気で、次第に自信に代わり、最終日には「もっとやりたい」、「終わるのが寂しい」と、口々に話していました。本当に良い経験をさせて頂き、ありがとうございました。(K.O.)



参加された皆さまが実際に土に触れ、苗木を植えることで自然とふれあい、森づくりについて少しずつ興味関心を持つ様子を間近で見ることができ、スタッフとして大変やりがいを感じました。また、ご家族ごとの記念撮影では、皆さまがとても素敵な笑顔を見せてくださり、イベントを楽しんでいただけたことを嬉しく思いました。(M.M.)

他社の方々と協力してイベントを盛り上げるために、どうしたらいいのか?話をしたり改めて事前準備の重要性を学びました。4日間ありましたが、あっという間に過ぎ、もう少し長いともっと上手くできたのに...と思う部分もありましたが、参加してくれた子供たちの笑顔でこちらも元気になりました。(C.K.)

今回のボランティア活動を通じて、特に、活動を取りまとめてくださった方やリーダーを務めてくださった住友林業の方は、住友館に関する知識はもちろんのこと、別子銅山の歴史や自然環境にも非常に詳しく、幅広い知識を共有していただきました。そのお話は楽しいだけでなく、学びの多いものであり、同じ住友グループで働くことに対する誇りを改めて感じる機会となりました。(T.H.)



大阪工場・研究所などを数字でご紹介

法の遵守状況

2024年度の環境関係の法律や保安・防災に関する法律の遵守状況については、以下のとおりです。



環境規制値の監視・遵守状況

測定結果は、いずれも法規制値以下でした。



分類	法令	測定項目	測定頻度	対象施設等
大気	大気汚染防止法	ばいじん, NOx, SOx, 酸素濃度	1回/2ヵ月	コージネーション 1基 液中燃焼炉 2基
			1回/6ヵ月	ボイラー 4基 ガスエンジン 5基 冷凍機ボイラー 2基
		水銀	1回/4ヵ月	液中燃焼炉 2基
		燃料使用量, 排ガス流量 (*印の施設では NOx も常時測定)	常時(連続)	コージネーション 1基* 液中燃焼炉 2基* ボイラー 4基 ガスエンジン 5基
廃棄物の処理 及び清掃に関する法律	ダイオキシン類	1回/3ヵ月	液中燃焼炉 2基	
水質	下水道法	排水量, TOC, COD, 浮遊物質量, 雨量, 着色, 酸素消費量, 銅, 全りん, 全窒素, 温度, pH	1回/日	工場排水
		BOD, n-ヘキサン抽出物質, フェノール類, シアン, 総水銀, 鉄, ジクロロメタン, 1,2-ジクロロエタン, 1,4-ジオキサン	1回/週	
		鉛, 6価クロム, ヒ素, 全クロム, 亜鉛, マンガン	1回/月	
その他	ダイオキシン類特別措置法	ダイオキシン類	1回/年	工場排水
	騒音規制法	法定時間帯での騒音測定	1回/年(自主)	敷地境界(4点)
	振動規制法	法定時間帯での振動測定	1回/年(自主)	敷地境界(4点)
	悪臭防止法	臭気測定	1回/年(自主)	敷地境界(4点)



2 官庁への届出実績

法令(五十音順)	組織変更・人事異動等による選解任に関する官庁への届出(2024年度実績)	施設変更等に関する官庁への届出(2024年度実績)
大阪府条例、大阪市指導要領等 覚醒剤取締法 化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律 下水道法、水質汚濁防止法 高圧ガス保安法 公害健康被害の補償等に関する法律 工場立地法 消防法 石油コンビナート等災害防止法 騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法 大気汚染防止法 ダイオキシン類対策特別措置法 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 毒物及び劇物取締法 土壌汚染対策法 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 エネルギーの使用の合理化に関する法律 労働安全衛生法 道路運送車両法	63件	502件



大気汚染防止法より

SOx、NOxともに大気汚染に関する法規制値を以下のとおり下回っています。

■SOx排出量

SOx 発生施設	基準値 (ppm)*	2024 年度実績濃度 (ppm)
液中燃焼炉 (1,2 号機)	39	0.12 ~ 0.14

■NOx排出量

NOx 発生施設	基準値 (ppm)*	2024 年度実績濃度 (ppm)
液中燃焼炉 (1,2 号機)	400	99 ~ 340
ボイラー 1 号	100	15 ~ 41
ボイラー 2 号	100	36 ~ 41
ボイラー 3 号	100	33 ~ 39
ボイラー 4 号	100	48 ~ 50
コージェネレーションシステム 4 号機	100	0.9 ~ 2.3
ガスエンジン (1~5号機)	100	35 ~ 75
冷凍機ボイラー (No.1, No.2)	100	22 ~ 32

(※大阪市条例による基準値)

※SOx、NOx、液中燃焼炉、ボイラー、コージェネレーションシステム、ガスエンジンのご説明は、P.28をご参照。

水質汚濁防止法より

COD、BODの排出量は、下記のとおりです。

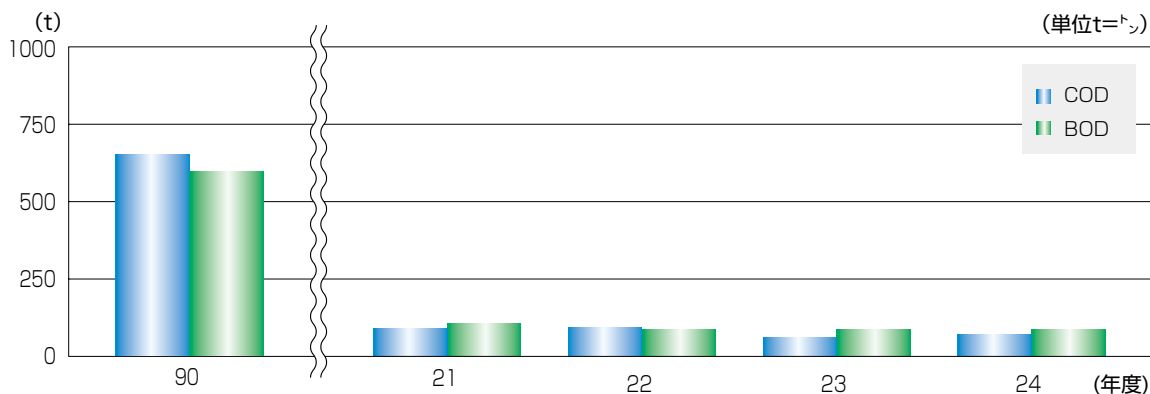


廃水はどこに
流れるの？

構内で処理した後、
公共下水処理場
に行きます。



■COD・BOD排出量



大阪工場・研究所の排水は中和・沈澱処理を行った後、下水道へ排出しています。CODおよびBODの排出量が減少して、排水の水質は年々向上し、一般家庭排水の水質に近づいています。

大阪工場・研究所などを数字でご紹介

地球温暖化防止法より

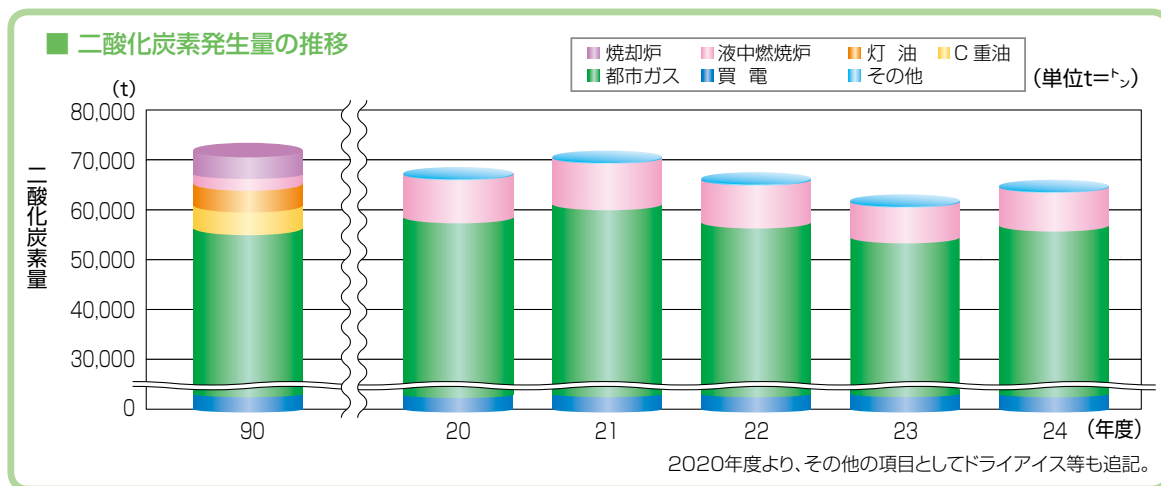
二酸化炭素発生量

燃料を燃やしたり、電気などのエネルギーを使用することにより、二酸化炭素が発生します。また、他の二酸化炭素の発生源として燃烧炉があります。

エネルギーの使用による二酸化炭素の発生量と燃烧による二酸化炭素の発生量の推移は、下記のグラフに示すとおりです。

省エネルギー（地球温暖化防止）は、住友化学の方針として取り組んでいくことを宣言し、環境大臣と「エコ・ファーストの約束」を取り交わしています。

大阪工場・研究所でも、エコ・ファーストの約束を踏まえ、省エネルギー活動を推進し、二酸化炭素の発生量の削減に取り組んでいます。



地球温暖化防止への取り組みは行っているの？

二酸化炭素発生の低減に取り組んでいます。



※SOxとは？

イオウ酸化物のことを言います。燃料などに含まれているイオウ分が燃える過程でイオウが酸化されて発生します。のどや肺を刺激し気管支炎など、人の健康への影響があります。

NOxとは？

窒素酸化物のことを言います。物が燃えるときに空気中の窒素や燃料中の窒素が酸化されて発生します。人の呼吸器に影響を与えるだけでなく、光化学スモッグの原因の1つになります。

液中燃烧炉とは？

廃液中の有機物を燃烧（900℃以上）するための烧却炉です。燃烧した有機物は水、炭酸ガスになります。

ボイラーとは？

水を水蒸気にするための設備です。水蒸気は生産活動やお風呂等の加熱源として使用します。

コージェネレーションシステムとは？

燃料を用いて発電するとともに、その際に発生する排熱を冷暖房や給湯、蒸気などの用途に有効利用する省エネルギーシステムです。

ガスエンジンとは？

効率の高い発電システムであり、燃料に炭素の少ない都市ガスを使用しており、二酸化炭素の発生を抑制しています。



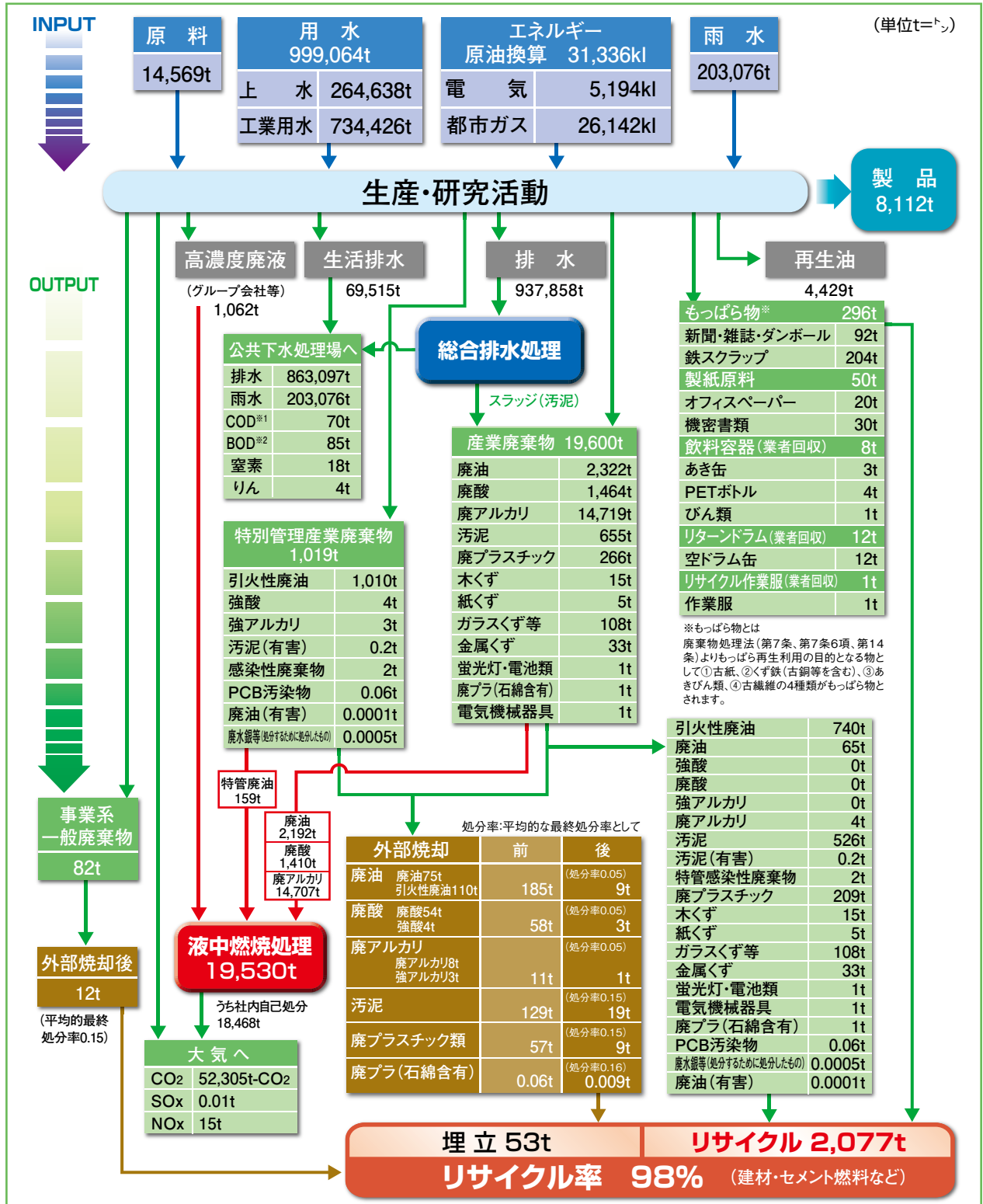
廃掃法などより



廃棄物などの発生量

事業系一般廃棄物や産業廃棄物などの発生量を示します。

数値は2024年度実績



※1および※2: 本レポートP.27をご覧ください。

大阪工場・研究所などを数字でご紹介

特定化学物質の管理・PRTR法より

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register) 法

PRTR とは、環境に有害な恐れのある物質の大気や水域、土壌などへの排出量および廃棄物として事業所の外へ移動する量を行政に届け出て、公表していく制度です。

PRTR 法「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の施行により、特定化学物質の環境への排出量等を毎年、大阪府に届け出ることが義務付けられています。

PRTR 法で指定されている化学物質（第一種指定化学物質）は、515物質です。このうち、大阪工場・研究所で取扱っている下の表の 20物質を報告しました。

● PRTR該当物質排出量・移動量一覧表

算定期間：2024年4月～2025年3月
単位：kg, (ダイオキシン類の場合mg-TEQ)

化合物名	排出量				移動量(注)		
	大気	水域	土壌	排出量合計	下水道	廃棄物	移動量合計
アクリル酸及びその水溶性塩	2.0	0	0	2.0	0.0	0.0	0.0
アセトアルデヒド	88.7	0	0	88.7	0.0	0.0	0.0
エチルベンゼン	141.9	0	0	141.9	42.3	10,783.5	10,825.8
キシレン	141.9	0	0	141.9	42.2	10,787.9	10,830.1
クレゾール	0.4	0	0	0.4	0.0	1.5	1.5
クロロベンゼン	217.7	0	0	217.7	0.0	1,044.7	1,044.7
クロロホルム	319.0	0	0	319.0	7.7	189,935.0	189,942.7
1, 4-ジオキサン	44.4	0	0	44.4	25.2	111,299.6	111,324.8
ダイオキシン類	0.021	0	0	0.021	0.222	0.0	0.222
トリエチルアミン	231.6	0	0	231.6	456.6	11,892.5	12,349.1
トルエン	1,418.4	0	0	1,418.4	292.6	183,739.7	184,032.3
CTAC(ヘキサデシルトリメチルアンモニウムクロリド)	18.2	0	0	18.2	0.0	0.0	0.0
ノルマルヘキサン	3,233.0	0	0	3,233.0	0.0	738.8	738.8
ホルムアルデヒド	239.4	0	0	239.4	1,979.3	0.0	1,979.3
メタクリル酸メチル	178.8	0	0	178.8	0.0	0.0	0.0
SMX(プロシミドン)	0.0	0	0	0.0	0.0	2,864.3	2,864.3
テトラヒドロフラン	3.4	0	0	3.4	0.0	2,006.0	2,006.0
ノルマルヘプタン	349.4	0	0	349.4	0.0	184,647.0	184,647.0
メチルイソブチルケトン	174.7	0	0	174.7	9.2	1,093.3	1,102.5
N-メチル-2-ピロリドン	2.3	0	0	2.3	0.0	67,251.1	67,251.1

(注) 移動量とは、大阪工場・研究所外で処理される量です。



● 構内グループ会社からの排出・移動量

構内グループ会社についても、PRTR法に基づき、以下のとおり大阪府へ届け出をしています。

算定期間：2024年4月～2025年3月
単位：kg

社名	化合物名	排出量					移動量 ^(注)		
		大気	水域	土壌	埋立 (事業所内)	排出量合計	下水道	廃棄物	移動量合計
朝日化学工業	チオ尿素	0	0	0	0	0	5.1	16	21.1
	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0	2.1	6.7	8.8
	ポリ(オキシエチレン)= アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12 から15までのもの及びそ の混合物に限る。)	0	0	0	0	0	6.4	20	26.4
	ポリ(オキシエチレン)=アル キルフェニルエーテル (アルキル基の炭素数が8の ものに限る。)	0	0	0	0	0	1.1	3.5	4.6
	ジエチレングリコールモノ ブチルエーテル	0	0	0	0	0	14	43	57
	(1-ヒドロキエタン-1,1-ジイル)シホス ホン酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩	0	0	0	0	0	1.9	6.3	8.2
	2-(2-メトキシエトキシ) エタノール	0	0	0	0	0	2.2	7	9.2
					合計	0	合計	135.3	
住化分析センター	ヘキサン	0	0	0	0	0	0	1,100	1,100
	テトラヒドロフラン	0	0	0	0	0	0	2,400	2,400
					合計	0	合計	3,500	
住友ファーマ	クロロホルム	37	0	0	0	37	0	3,400	3,400
	トルエン	2.7	0	0	0	2.7	0	1,400	1,400
	ヘキサン	23	0	0	0	23	0	2,100	2,100
	ヘプタン	12	0	0	0	12	0	1,100	1,100
					合計	74.7	合計	8,000	

(注) 移動量とは、構内グループ会社外で処理される量です。

大阪工場・研究所などを数字でご紹介

環境会計

環境会計とは、環境保全活動を実施するための費用と、その活動から得られる効果を示したものです。継続的に、かつ効果的に環境保全活動を進めていく上で重要な指針となります。

この環境会計の報告は、環境省作成の環境会計ガイドライン2005年版（2005年2月発行）に沿って集計しました。2024年度の当地区の環境会計は以下のとおりです。

1 環境保全コスト

分類		主な取り組み内容	投資額 (百万円)	費用額 ^(注) (百万円)
事業所エリア内 コスト	環境対策コスト	大気汚染・水質汚濁の防止	36	601
	地球環境保全コスト	地球温暖化防止	11	115
	資源循環コスト	廃棄物の適正処理、リサイクル	0	208
小計			47	924
上・下流コスト		グリーン購入・リサイクル	0	0
管理活動コスト		教育、環境対策組織運営	0	29
研究・開発コスト			0	0
社会活動コスト		緑化、景観改善	0	27
環境損傷コスト			0	0
合計			47	980

(注) 費用額とは、運転費用です。

2 省資源・省エネルギー経済効果

項目	メリット額	単位：百万円
省資源（変動費削減）		154.0
省エネルギー		1.8
合計		155.8

3 環境保全効果

(単位 t = トン)

環境保全効果の内容		単位	年度		増減
			2023	2024	
事業所内効果	NOx 排出量	t/年	12	15	3
	SOx 排出量	t/年	0.01	0.01	0
	ばいじん排出量	t/年	1	1	0
	排水量	千m ³ /年	800	863	63
	BOD	t/年	85	85	0
	COD	t/年	61	70	9
	CO ₂ 排出量	t/年	48,842	52,305	3,463
	電気使用量（買電）	原油換算 KL/年	4,794	5,194	400
	都市ガス使用量	原油換算 KL/年	25,917	26,142	225
	上水使用量	千t/年	265	265	0
	工業用水使用量	千t/年	652	734	82
	産業廃棄物発生量	t/年	20,586	20,634	48
	外部委託処分量	t/年	2,369	2,152	-217
	一般廃棄物処分量	t/年	94	82	-12

表紙のことば



株式会社 住化パートナーズ (障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく特例子会社)

「水の環境を守ろう」というテーマでモチーフを制作しました。水は人だけでなく、動物、植物…すべての生き物になくってはならないものです。今回は大阪工場構内で見かける動植物に焦点を当てました。みなさんが通勤時や勤務中に見かけたことのある生き物がいるかもしれません。ぜひ探してみてください。



材料

空いたペットボトル、段ボールを梱包するときに使用する紐など、リサイクルできる素材で制作しました。

フェルト細工

大阪工場構内で見かける生き物を調べて、下書きを描いて構想を練りました。細かくフェルトを切って、貼り付つけるのが難しかったです。



下書きと出来上がった作品の比較写真

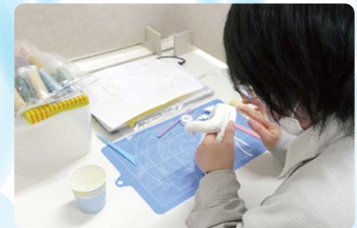


水に浮かぶ絵

油性ペンでセロテープに絵を描いて水に浸すとセロテープから絵だけ剥がれて水面に浮かびます。水の上に魚の絵をきれいに浮かせることが難しく集中力のいる作業でした。黒い魚は、住化パートナーズの職場近くにある大きな水槽にいるメダカをイメージしました。

干支粘土細工

テーマに「水」が入っているので、今年の干支である巳は水色で塗り、水に集まる動植物をイメージして制作しました。粘土で作った芝生は、オープンで焼いて土台をしっかりさせ、長期保存できるように工夫しました。



発行日 2025年10月15日
編集・発行 住友化学株式会社 大阪工場
住所 〒554-8558 大阪市此花区春日出中 3-1-98

ご意見・お問い合わせがありましたら下記までご連絡下さい。

大阪工場 総務部(総務)
電話 06-6466-5022 FAX 06-6466-5463



住友化学株式会社

●大阪工場

〒554-8558 大阪市此花区春日出中3丁目1番98号
Tel : (06)6466-5022 Fax : (06)6466-5463


この印刷製品は、環境に配慮した工場で製造されています。
P-010004
本社・本社工場


ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C013086
www.fsc.org